

平成26年11月28日
国土政策局広域地方政策課

平成26年度 第3回災害対策等緊急事業推進費の執行について

台風11号・12号や梅雨前線等に伴う豪雨・崖崩れ等により被害を受けた地域、台風11号に伴う強風により被害を受けた地域において、災害対策等緊急事業推進費※を執行し、再度災害を防止するための事業（18件）を緊急に立ち上げ実施します。

※ 災害対策等緊急事業推進費は、自然災害により被災した地域、又は重大な交通事故が発生した箇所等において、緊急に再度災害の防止対策又は事故の再発防止対策を実施し、住民及び利用者の安全・安心の確保を図ることを目的とした経費です。

平成26年度 第3回災害対策等緊急事業推進費 執行額

災害対策（18件）	[国費] 2,045百万円
-----------	---------------

【問い合わせ先】

国土政策局広域地方政策課調整室

専門調査官 高橋（内線29-915）

主査 富岡（内線29-925）

主査 勝田（内線29-923）

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8360

実施概要

○平成26年度 第3回 災害対策等緊急事業推進費（主な対策の例）

1. 梅雨前線や台風11号・12号等に伴う豪雨・崖崩れ等により被害を受けた地域における対策

【17件 2,033百万円（国費）】

具体的には(1)～(17)のとおり

(4)河川（補助）

- ・平成26年8月17日、岐阜県高山市ギフケンタカヤマシでは豪雨に見舞われ、流下能力不足のため河道から溢水し、浸水被害が発生した。
- ・このため、河道掘削等を緊急に実施し、再度災害を防止する。

(17)地方道（補助）

- ・平成26年8月23日から24日にかけて、大阪府箕面市オオサカフシノオシで豪雨に見舞われ、主要地方道トヨナカメオカセン豊中亀岡線（大阪府箕面市箕面2丁目地内）オオサカフシノオシシノオシチヨウメチナイでは、道路法面崩壊により、全面通行止めが、平成26年8月24日から9月11日にかけて発生した。その後、片側通行規制が、平成26年9月12日から現在も続いている。
- ・このため、吹付法砕工を緊急に実施し、再度災害を防止する。

2. 台風11号に伴う強風により被害を受けた地域における対策

【1件 12百万円（国費）】

具体的には(18)のとおり

(18)航路標識（直轄）

- ・平成26年8月10日、高知県室戸市コウチケンムロトシムロトミサキチヨウチサキ室戸岬町地先では台風11号により強風に見舞われ、室戸岬ムロトザキディファレンシャルGPS局の空中線鉄塔が曲損及び支線が切断する被害が発生した。
- ・このため、鉄塔補修・支線張替工等を緊急に実施し、再度災害を防止する。

平成26年度 第3回 災害対策等緊急事業推進費（災害対策） 実施計画一覧表

[金額単位：百万円]

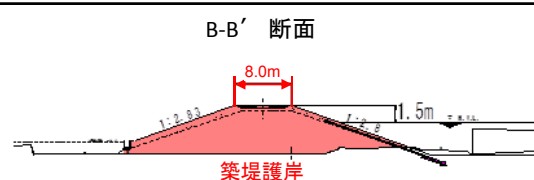
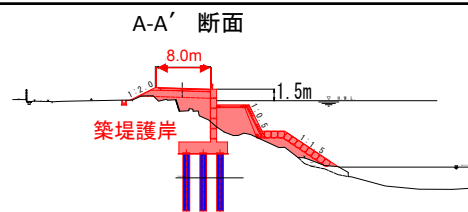
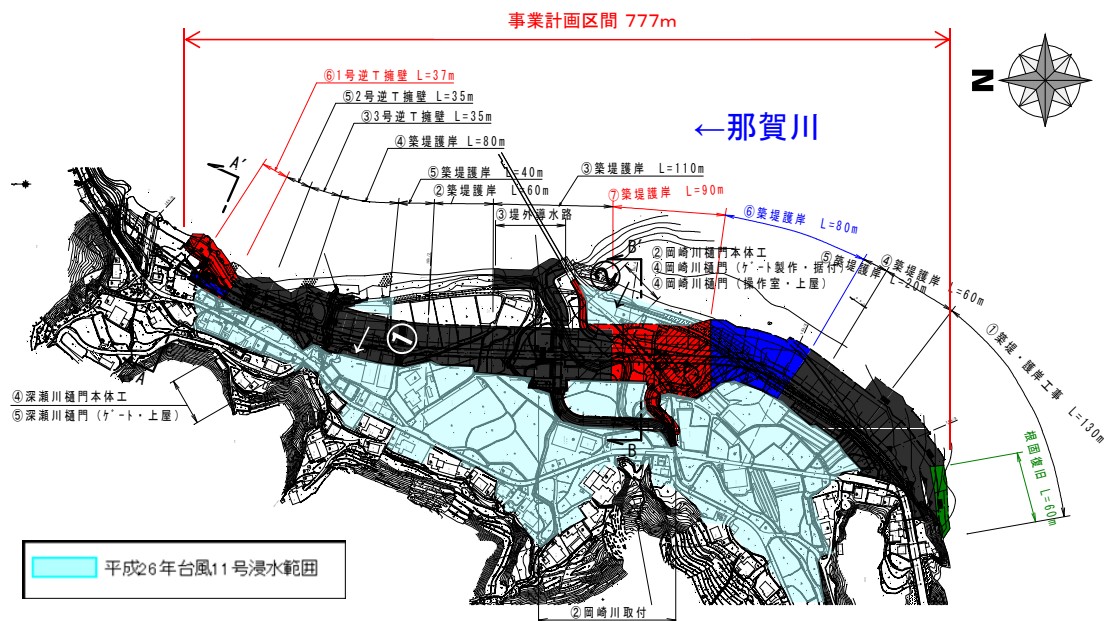
種別	事業主体名	事業名	施行地	実施計画額		
				事業費	国費	
1. 梅雨前線や台風11号・12号等に伴う豪雨・崖崩れ等による被害						
河川（直轄）						
1	河川改修事業	仁淀川水系仁淀川左支川宇治川	国土交通省 高知県 吾川郡いの町音竹地先～是友地先	40	40	
2	河川改修事業	那賀川水系那賀川深瀬地区	国土交通省 徳島県 阿南市深瀬岡崎地先	420	420	
河川（補助）						
3	河川改修事業	信濃川水系新通川	新潟県 新潟県 三条市四日町地先	870	435	
4	河川改修事業	神通川水系苔川	岐阜県 岐阜県 高山市西之一色町地先	120	60	
5	河川改修事業	新宮川水系熊野川	三重県 三重県 熊野市紀和町和気地先	150	75	
6	河川改修事業	由良川水系相長川	京都府 京都府 福知山市私市地先	116	58	
7	河川改修事業	新宮川水系熊野川	和歌山県 和歌山県 新宮市熊野川町日足地先	300	150	
8	河川改修事業	那賀川水系那賀川	徳島県 徳島県 那賀郡那賀町木頭出原地先	200	100	
9	河川改修事業	宍喰川水系宍喰川	徳島県 徳島県 海部郡海陽町尾崎地先	99	49.5	
10	河川改修事業	仁淀川水系奥田川	高知県 高知県 吾川郡いの町八田地先	10	5	
一般国道（直轄）						
11	道路維持管理事業	一般国道40号 名寄市智恵文地区防災対策	国土交通省 北海道 名寄市智恵文	188	188	
12	道路維持管理事業	一般国道228号 松前町白神地区災害防除	国土交通省 北海道 松前郡松前町白神	89	89	
13	道路維持管理事業	一般国道232号 苫前町力屋地区防災対策	国土交通省 北海道 苫前郡苫前町力屋	220	220	
14	道路維持管理事業	一般国道470号 七尾市佐々波町地区道路災害防除	国土交通省 石川県 七尾市佐々波町地先	48.7	48.7	
15	道路維持管理事業	一般国道9号 京都市右京区西院道路災害防除	国土交通省 京都府 京都市右京区西院	30	30	
16	道路維持管理事業	一般国道2号 岩国市道路災害防除	国土交通省 山口県 岩国市多田～玖珂町	56	56	
地方道（補助）						
17	道路更新防災等対策事業	主要地方道 豊中亀岡線	大阪府 大阪府 箕面市箕面2丁目地内	17.6	8.8	
計				17件	2,974.3	2,033.0
2. 台風11号に伴う強風による災害						
航路標識（直轄）						
18	航路標識整備事業	室戸岬ディファレンシャルGPS局	海上保安庁 高知県 室戸市室戸岬町地先	11.8	11.8	
計				1件	11.8	11.8
総計				18件	2,986	2,045

(2) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	ナカガワ ナカガワ フカセ 河川改修事業(那賀川水系那賀川深瀬地区)		
事業主体	国土交通省		
施行地	アナン フカセ オカザキ 徳島県阿南市深瀬町岡崎地先		
事業費	420 (百万円)	国費	420 (百万円)
内容	平成26年台風11号に伴う出水により、堤防未整備区間からの溢水で、浸水被害が発生した。今後の豪雨により、再度浸水しないよう、推進費を活用して緊急に築堤整備による対策を講じることにより、地域住民の安全・安心を確保する。		

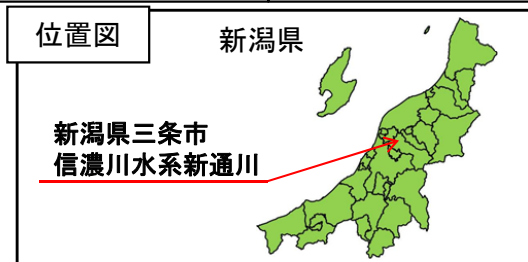


凡例	
赤	推進費要求箇所 (当年度施行)
緑	災害復旧 (当年度施行)
青	当初実施箇所 (当年度施行)
黒	施行完了箇所



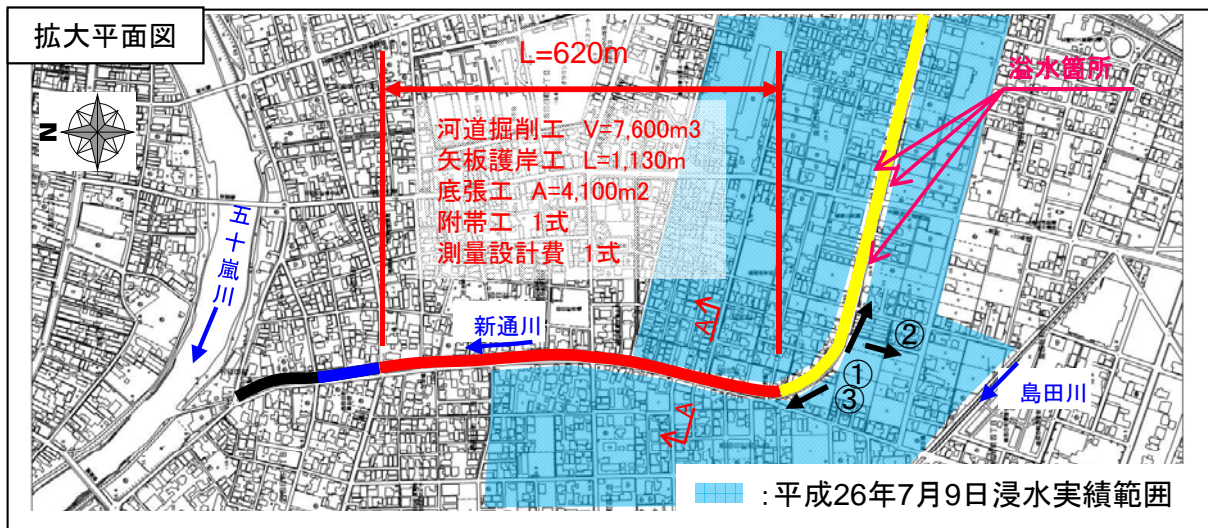
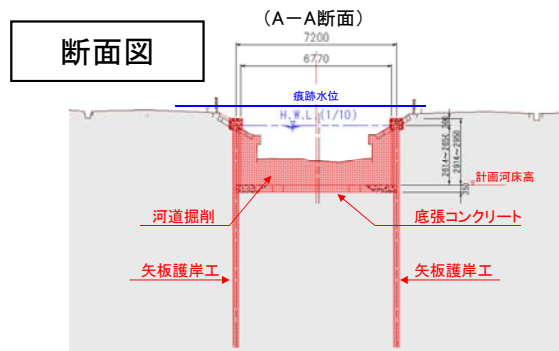
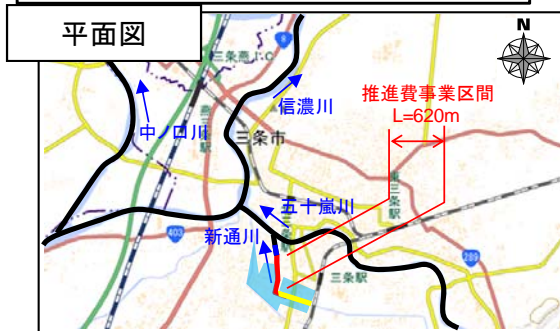
(3) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	シナノガワ シンドオリガワ 河川改修事業(信濃川水系新通川)		
事業主体	新潟県		
施行地	サンジョウ ヨッカマチ 新潟県三条市四日町地先		
事業費	870 (百万円)	国費	435 (百万円)
内容	平成26年7月8日から9日にかけて、新潟県三条市で豪雨に見舞われ、三条市四日町地先では、流下能力不足のため河道から溢水し、浸水被害が発生した。今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に河道掘削等を行うことで、住民の安全・安心を確保する。		



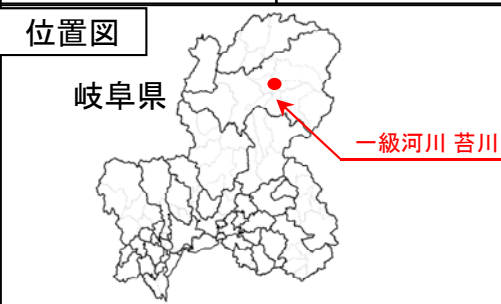
凡例

赤	推進費要求箇所 (当年度施行)
青	当初実施箇所 (当年度施行)
黄	次年度以降の実施予定
黒	施工完了箇所



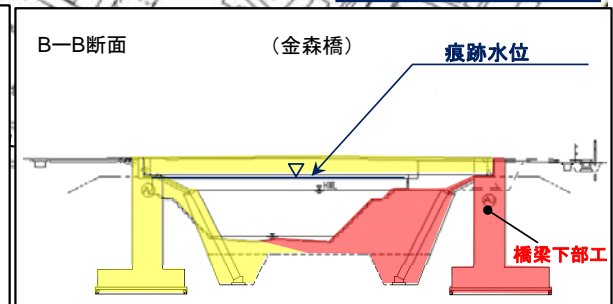
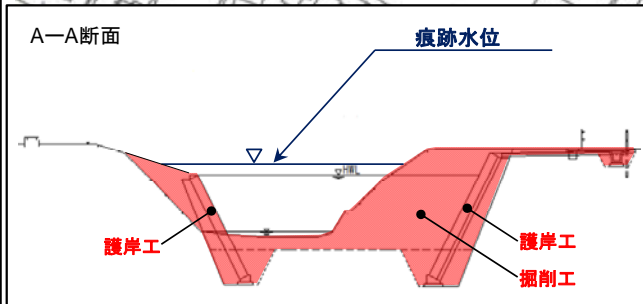
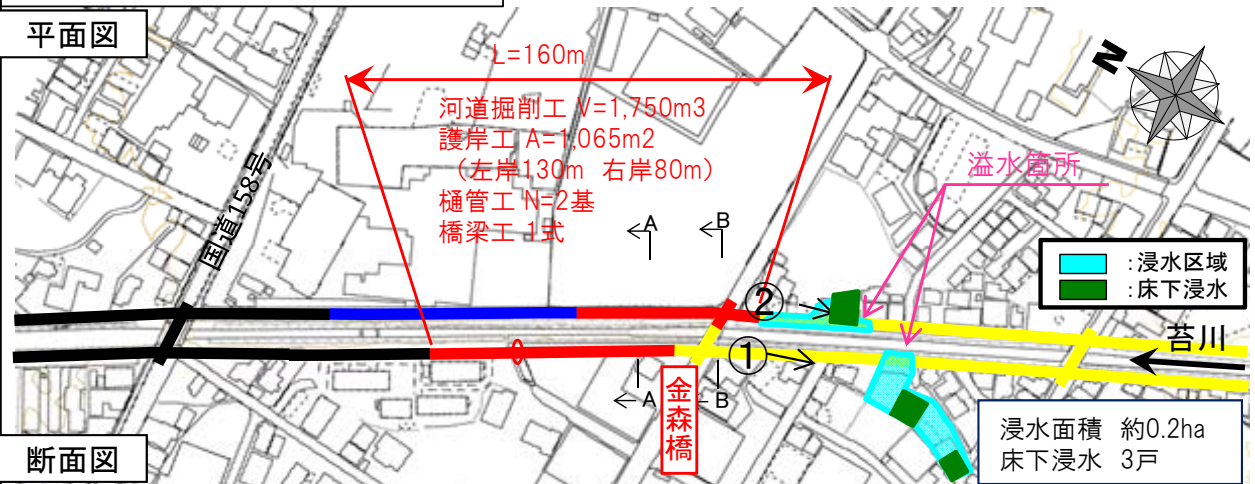
(4) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	ジンヅウガワ スノリガワ 河川改修事業(神通川水系苔川)		
事業主体	岐阜県		
施行地	タカヤマ ニシノイツシキマチ 岐阜県高山市西之一色町地先		
事業費	120 (百万円)	国費	60 (百万円)
内容	平成26年8月17日、岐阜県高山市で豪雨に見舞われ、高山市西之一色町地先では、流下能力不足のため河道から溢水し、浸水被害が発生した。 今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に河道掘削等を行うことで、住民の安全・安心を確保する。		



凡例

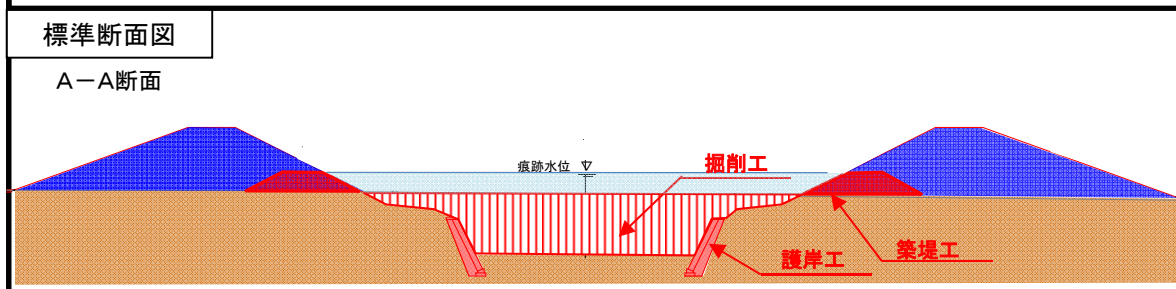
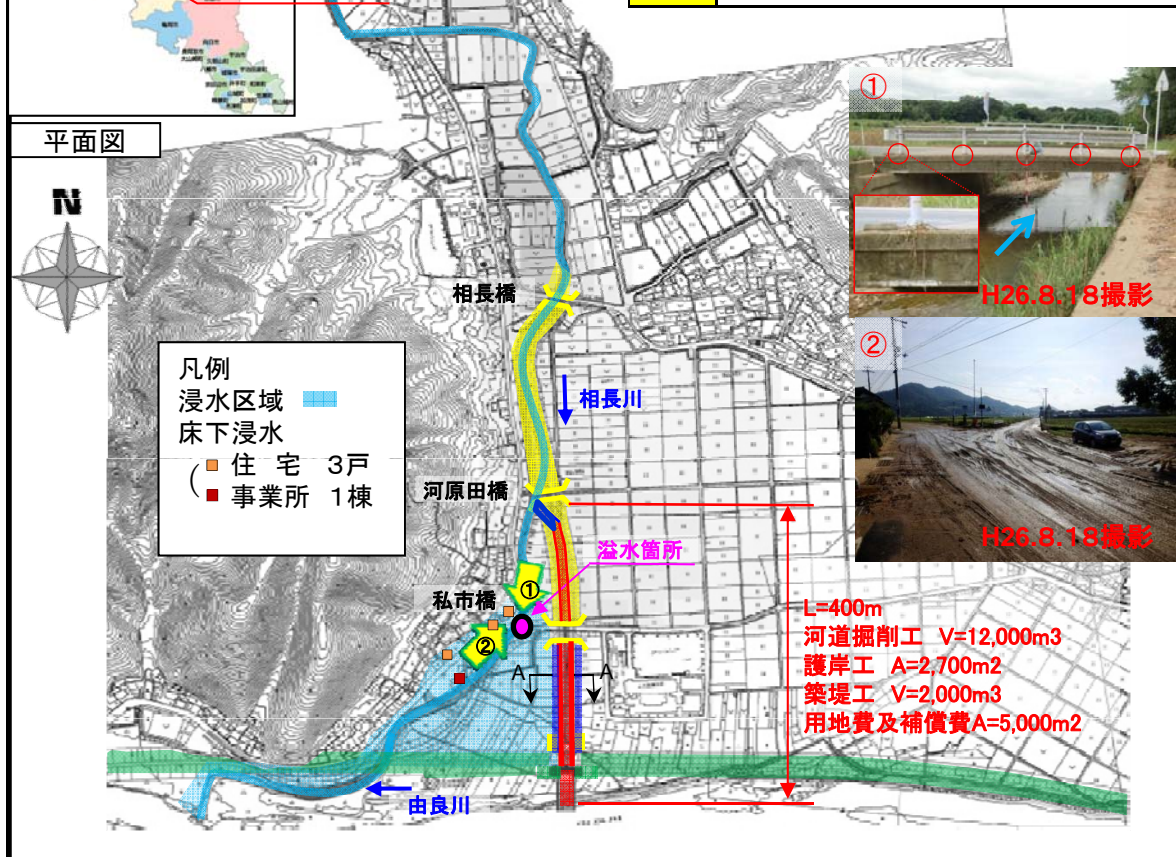
赤	推進費要求箇所 (当年度施行)
青	当初実施箇所 (当年度施行)
黄	次年度以降の実施予定
黒	施行完了箇所



(6) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	ユラガワ アイオサガワ 河川改修事業(由良川水系相長川)		
事業主体	京都府		
施行地	フクチヤマ キサイチ 京都府福知山市私市地先		
事業費	116 (百万円)	国費	58 (百万円)
内容	平成26年8月16日から17日にかけて、京都府福知山市で豪雨に見舞われ、福知山市私市地先では、流下能力不足のため河道から溢水し、浸水被害が発生した。 今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に河道掘削等を行うことで、住民の安全・安心を確保する。		

位置図	京都府	凡例						
	京都府福知山市 由良川水系相長川	<table border="1"> <tr> <td>赤</td> <td>推進費要求箇所 (当年度施行)</td> </tr> <tr> <td>青</td> <td>当初実施箇所 (当年度施行)</td> </tr> <tr> <td>黄</td> <td>次年度以降の実施予定</td> </tr> </table>	赤	推進費要求箇所 (当年度施行)	青	当初実施箇所 (当年度施行)	黄	次年度以降の実施予定
	赤	推進費要求箇所 (当年度施行)						
	青	当初実施箇所 (当年度施行)						
黄	次年度以降の実施予定							

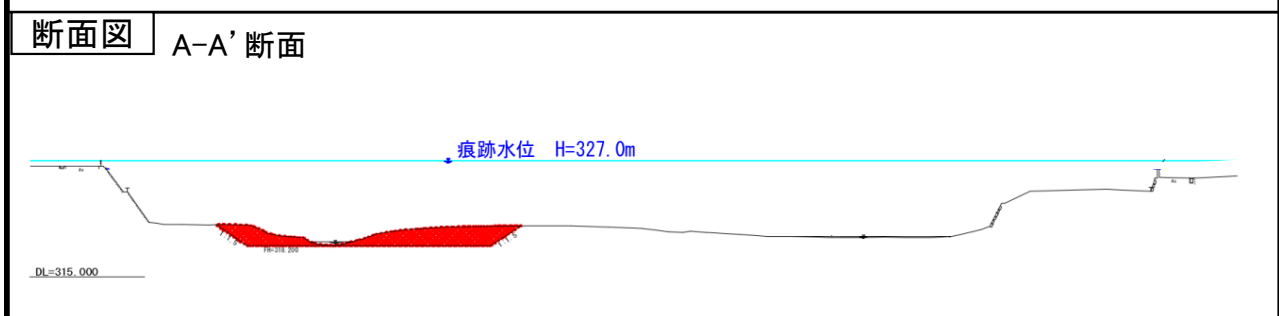
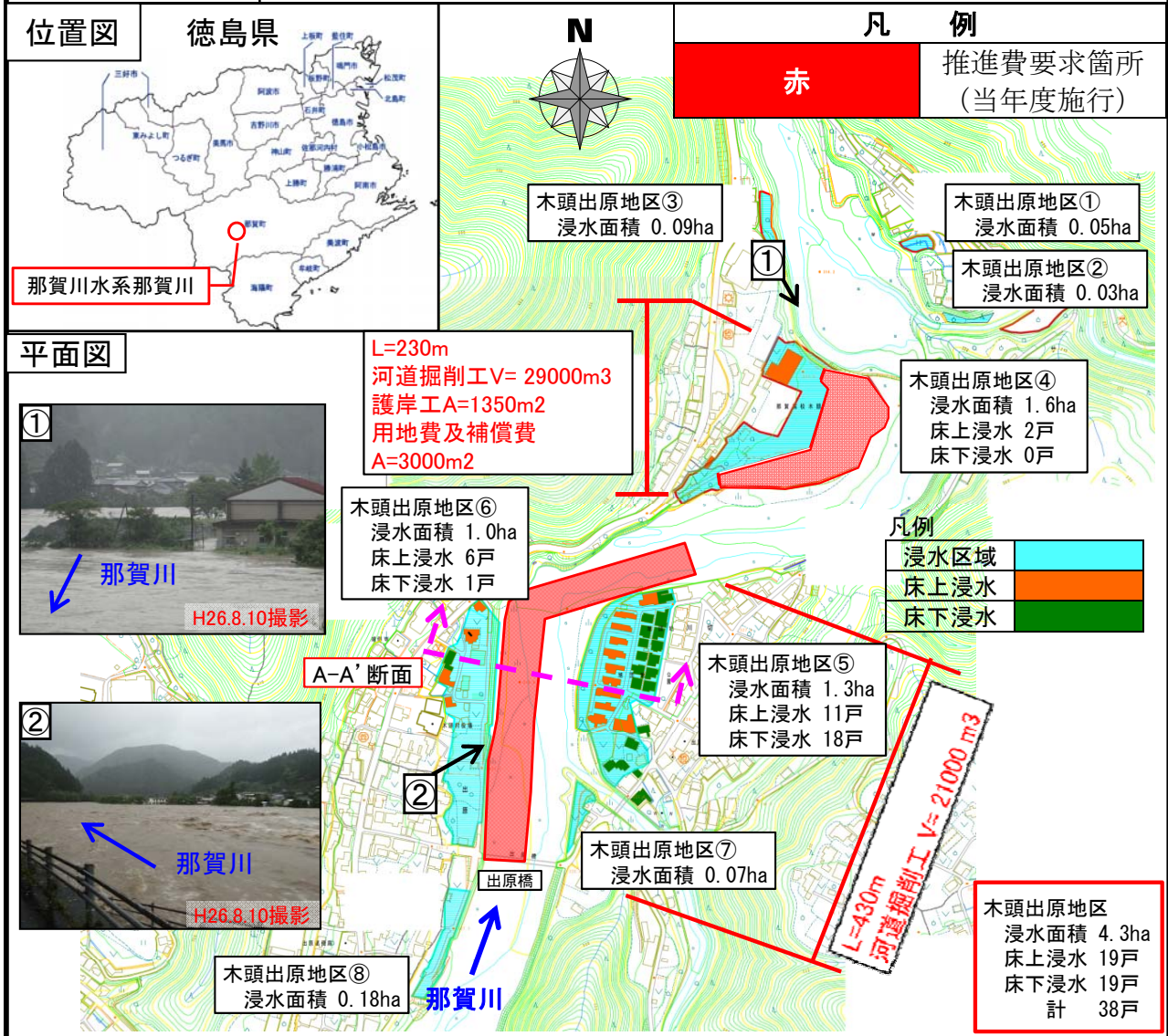


(7) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	シングウガワ クマノガワ 河川改修事業(新宮川水系熊野川)		
事業主体	和歌山県		
施行地	シングウ クマノガワチョウヒタリ 和歌山県新宮市熊野川町日足地先		
事業費	300 (百万円)	国費	150 (百万円)
内容	平成26年8月8日から10日にかけて、和歌山県新宮市で豪雨に見舞われ、新宮市熊野川町日足地先では、 ^{シングウ} 流下能力不足のため河道から溢水し、 ^{シングウ} 浸水被害が発生した。 今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に河道掘削を行うことで、住民の安全・安心を確保する。		
位置図		凡 例 赤 推進費要求箇所 (当年度施行)	
平面図			

(8) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

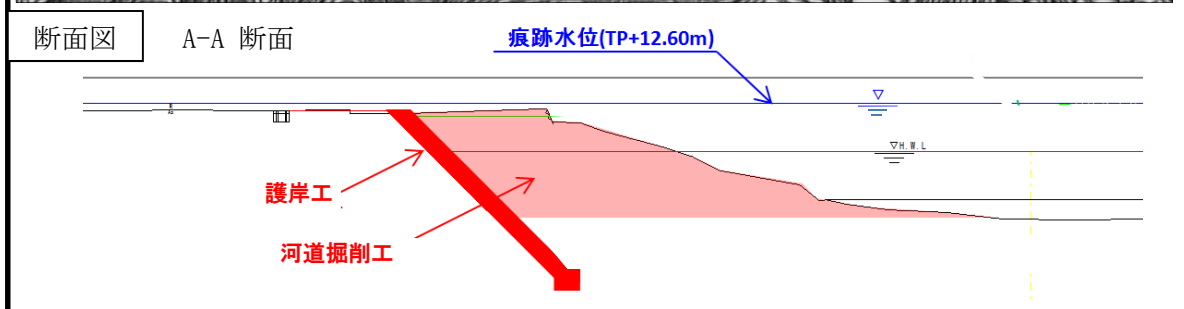
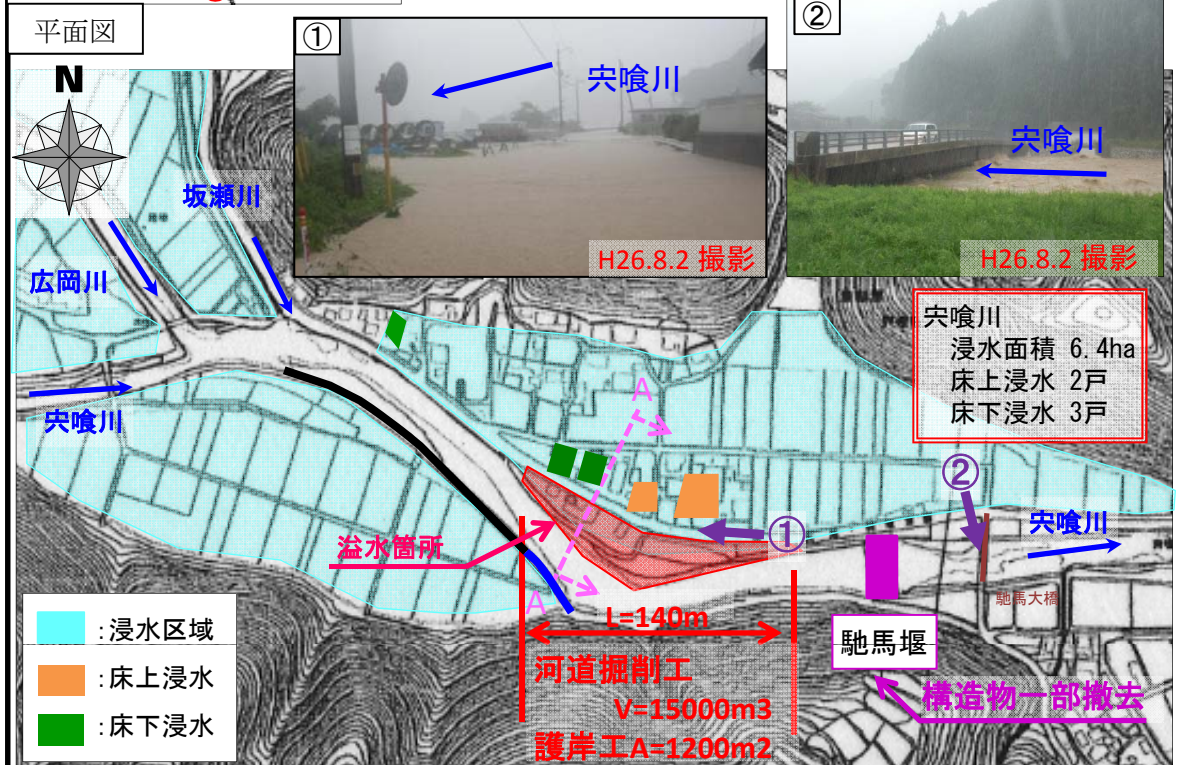
事業名	河川改修事業(那賀川水系那賀川) <small>ナカガワ ナカガワ</small>		
事業主体	徳島県		
施行地	徳島県那賀郡那賀町木頭出原地先 <small>ナカグンナカチョウキトウイズハラ</small>		
事業費	200 (百万円)	国費	100 (百万円)
内容	平成26年8月9日から10日にかけて、徳島県那賀郡那賀町で豪雨に見舞われ、那賀郡那賀町出原地先では、流下能力不足のため河道から溢水し、浸水被害が発生した。 <small>ナカグン ナカチョウ</small> 今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に河道掘削等を行うことで、住民の安全・安心を確保する。		



(9) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	シシクイガワ シシクイガワ 河川改修事業(宍喰川水系宍喰川)		
事業主体	徳島県		
施行地	カイクンカイヨウチョウオザキ 徳島県海部郡海陽町尾崎 地先		
事業費	99 (百万円)	国費	49.5 (百万円)
内容	カイクンカイヨウチョウ 平成26年8月1日から4日にかけて、徳島県海部郡海陽町で豪雨に見舞われ、海陽町尾崎地先では、 カイクンカイヨウチョウ オザキ 流下能力不足のため河道から溢水し、浸水被害が発生した。 今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に河道掘削等を行うことで、住民の安全・安心を確保する。		

位置図	徳島県	凡例
	赤	推進費要求箇所 (当年度施行)
	青	当初実施箇所 (当年度施行)
	紫	他事業実施箇所 (当年度施行)

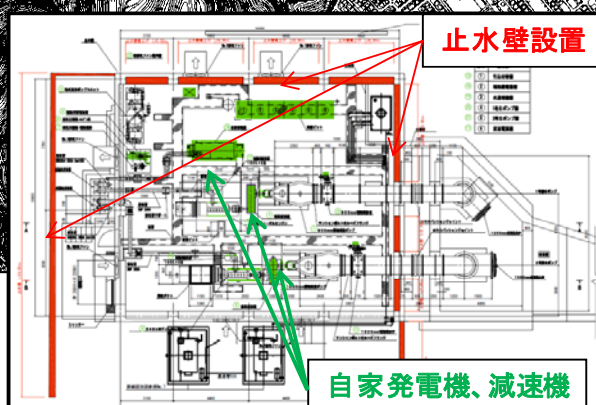
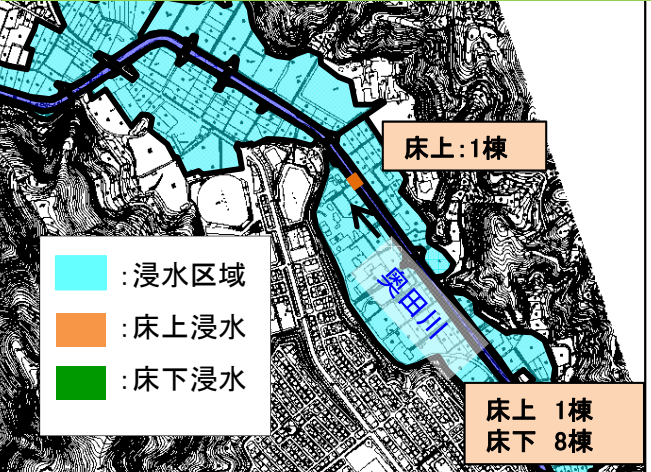
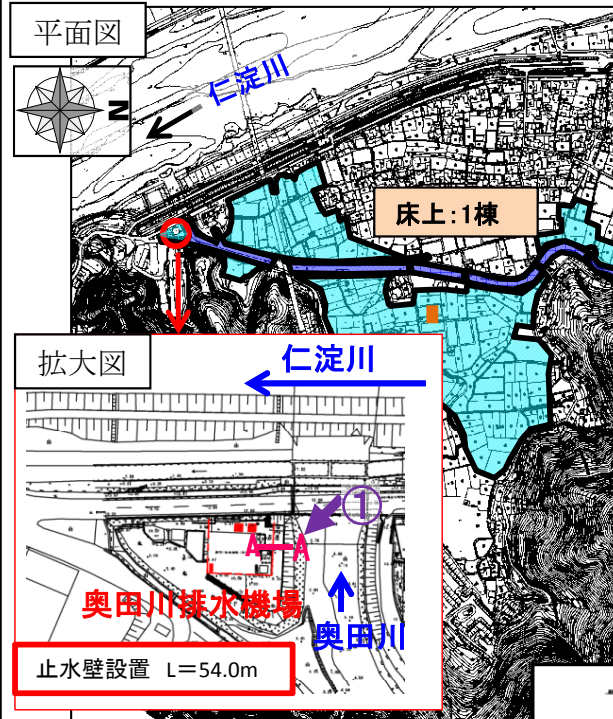
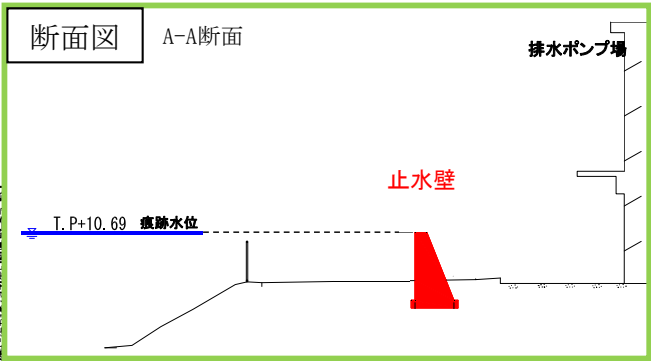


(10) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	河川改修事業(仁淀川水系奥田川) <small>ニヨダガワ オクダガワ</small>		
事業主体	高知県		
施行地	高知県吾川郡いの町八田地先 <small>アガワグン イノチョウ ハタ</small>		
事業費	10 (百万円)	国費	5 (百万円)
内容	平成26年8月2日から4日にかけて、高知県吾川郡いの町で豪雨に見舞われ、いの町八田地先では、奥田川排水機場の排水ポンプ設備が冠水し、内水排除が出来なくなったことで浸水被害が発生した。 今後の豪雨に対して、再度災害防止を図るため、推進費を活用し、緊急的に排水機場周りの止水壁の設置を行う事で冠水から守り、住民の安全・安心を確保する。 <small>アガワグン イノチョウ</small>		



凡 例	
赤	推進費要求箇所 (当年度施行)
緑	災害復旧 (当年度施行)

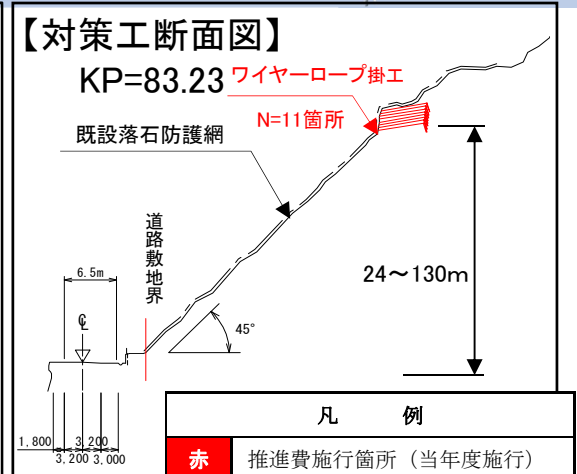
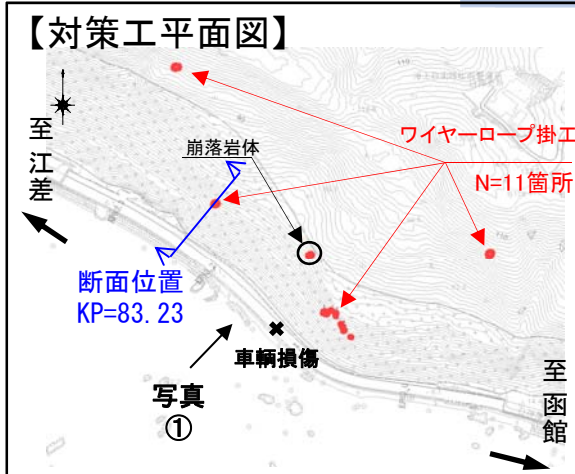


(11) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

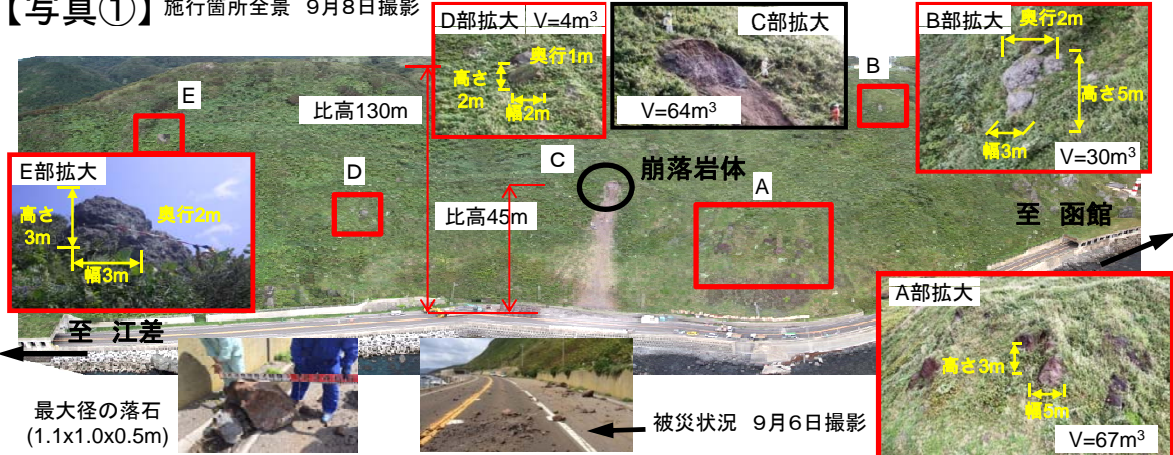
事業名	ナヨロシ チェブン チク ボウサイタイサク 道路維持管理事業(一般国道40号名寄市智恵文地区防災対策)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ホッカイドウ ナヨロシ チェブン 北海道名寄市智恵文		
事業費	188 (百万円)	国費	188 (百万円)
内容	<p>平成26年8月4日～5日に記録的な豪雨が発生し、名寄市大橋のアメダス観測所では24時間雨量としては観測史上最大の153.5mmを記録した。この豪雨により、国道40号名寄市智恵文において法面崩壊や亀裂及び法面変状の災害が8月5日に発生し、全面通行止め(約5時間45分)となった。</p> <p>今後の豪雨により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急に法面工及び排水工の対策を講じることにより、交通の安全を確保する。</p>		
【位置図】	<p>※国土地理院 白地図</p>	<p>【詳細図】</p> <p>法面工 排水側溝 U-300B 排水延長 L=220m</p> <p>地下排水工 有孔管φ100 (φ50)</p> <p>通防排水層(砕石) L=200m 厚さ L=150mm</p> <p>5.00%</p> <p>ロックボルトD19 耐孔径φ90mm 受圧板口407×40mm ロックボルト長 L=5m</p>	<p>【断面図】KP=13.48</p> <p>排水側溝 U-300B 排水延長 L=220m</p> <p>空投砕石防護層 H=4.0m</p> <p>地下排水工 有孔管φ100 (φ50)</p> <p>ロックボルトD19 耐孔径φ90mm 受圧板口407×40mm ロックボルト長 L=5m</p> <p>3.2m</p>
【箇所図】	<p>至 稚内市</p> <p>至 旭川市</p> <p>至 旭川市</p> <p>至 稚内市</p> <p>ナイブチ テレメータ(内淵跨道橋)</p> <p>アメダス(名寄市大橋)</p>	<p>【平面図】</p> <p>凡例 赤 推進費施行箇所 (当年度施行)</p> <p>至 旭川市</p> <p>至 稚内市</p> <p>写真① 写真②</p> <p>用地境界</p> <p>L=21m L=40m L=22m</p> <p>北海道名寄市字智恵文</p> <p>申請延長 L=220m 法面工 A=1,870㎡ 排水工 L=220m</p> <p>法面変状箇所 亀裂箇所 法面崩壊箇所 用地境界</p>	
写真① 発生箇所(平成26年8月5日)	<p>L=13m</p> <p>H=6.2m</p> <p>法面崩壊</p>		
写真② 発生箇所(平成26年8月5日)	<p>W=0.5m</p> <p>深さ=0.4m</p> <p>L=20m</p> <p>亀裂発生</p>		

(12) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	マツマエチヨウシラカミチク サイガイボウジヨ 道路維持管理事業(一般国道228号松前町白神地区災害防除)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ホッカイドウマツマエゲンマツマエチヨウシラカミ 北海道松前郡松前町白神		
事業費	89 (百万円)	国費	89 (百万円)
内容	平成26年9月6日に崖崩れ及び落石が発生し、車輛損傷2台、車輛運転手の2名が頸椎捻挫の一般被害が発生した。また、この災害により、国道228号松前町白神において落石防護柵の倒壊約15mや、最大落石径(1.1×1.0×0.5m)の落石被災を受け、全面通行止めから片側交互通行となった。(通行規制時間77時間)今後の落石等により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急に落石対策を講じることにより、交通の安全を確保する。		

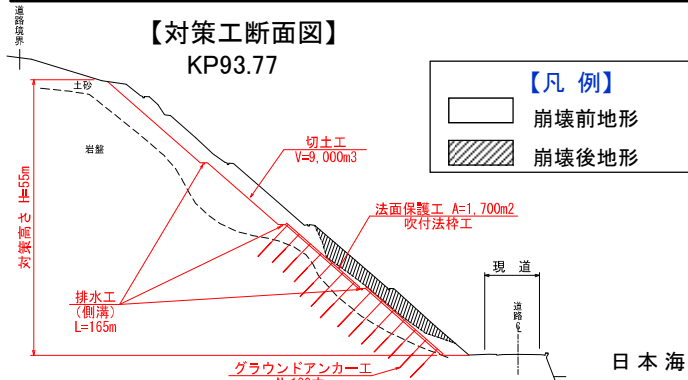
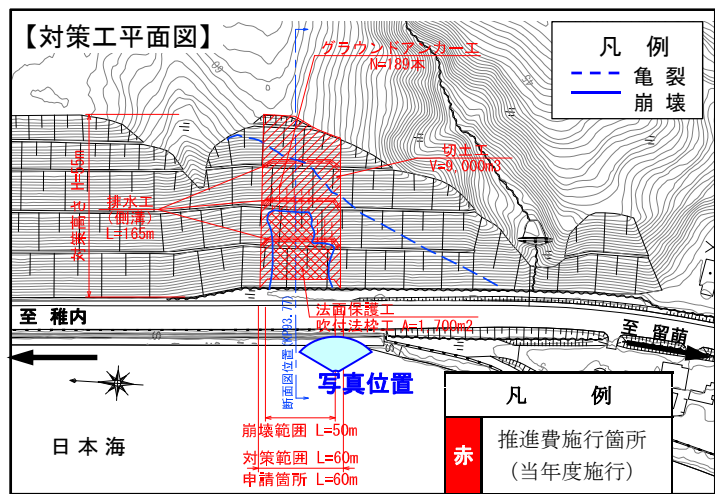


【写真①】 施行箇所全景 9月8日撮影



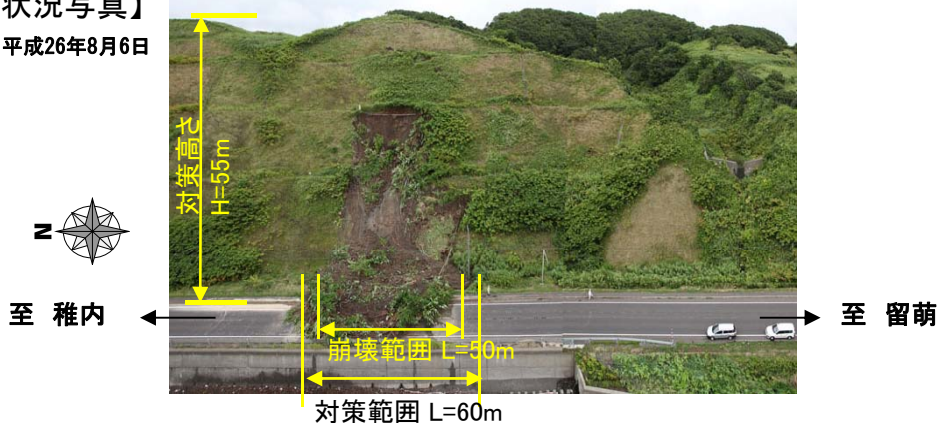
(13) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	トマエチヨウリキビルチクボウサイタイサク 道路維持管理事業(一般国道232号苫前町力屋地区防災対策)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ホッカイドウトマエグントマエチヨウリキビル 北海道苫前郡苫前町力屋		
事業費	220 (百万円)	国費	220 (百万円)
内容	平成26年8月4日～5日に記録的な豪雨が発生し、苫前町上平の上平観測所では24時間雨量としては観測史上最大の172mmを記録した。この豪雨により、国道232号苫前町力屋において道路切土法面崩壊や亀裂等の法面変状が発生し、全面通行止め(168時間10分)となり、現在も片側交互通行規制を実施中。今後の豪雨により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急に法面工及び排水工の対策を講じることにより、交通の安全を確保する。		



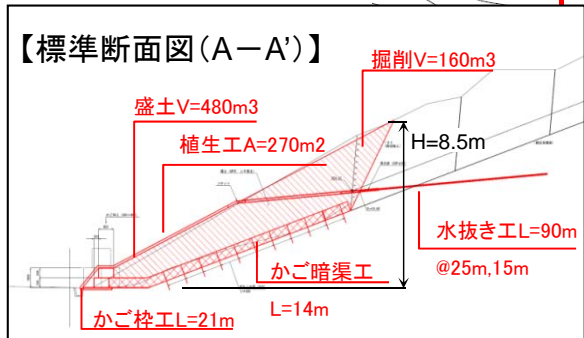
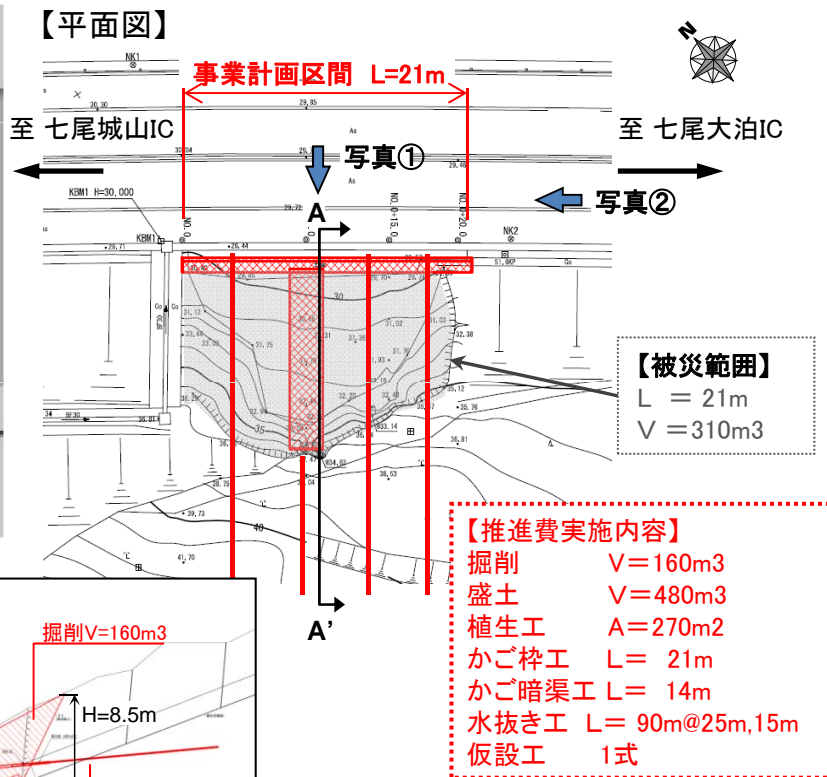
【被災状況写真】

撮影日：平成26年8月6日

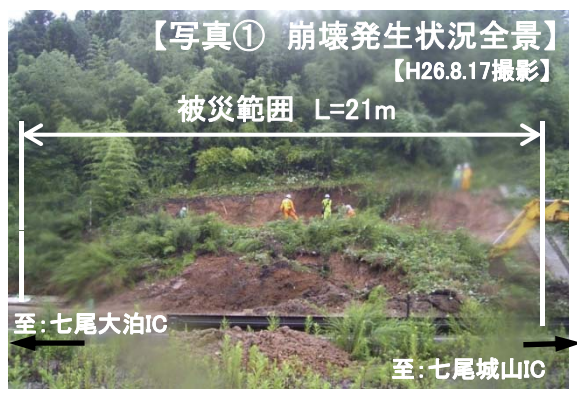


(14) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	ナナオシ サザナミマチチクドウロサイガイボウジョ 道路維持管理事業(一般国道470号七尾市佐々波町地区道路災害防除)		
事業主体	国土交通省		
施行地	イシカワケンナナオシサザナミマチ チサキ 石川県七尾市佐々波町地先		
事業費	48.7 (百万円)	国費	48.7 (百万円)
内容	平成26年8月16日~17日の前線による豪雨により、七尾市佐々波町の麻生観測所では24時間雨量168mmを記録した。この豪雨により、国道470号七尾市佐々波町地先において道路切土法面崩壊(L=21m、V=310m ³)が8月17日に発生し、片側交互通行規制(約19.5時間)となった。 今後の豪雨により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急にかご枠工等の地すべり対策を講じることにより、交通の安全を確保する。		



凡 例	
赤	推進費施行箇所 (当年度施行)

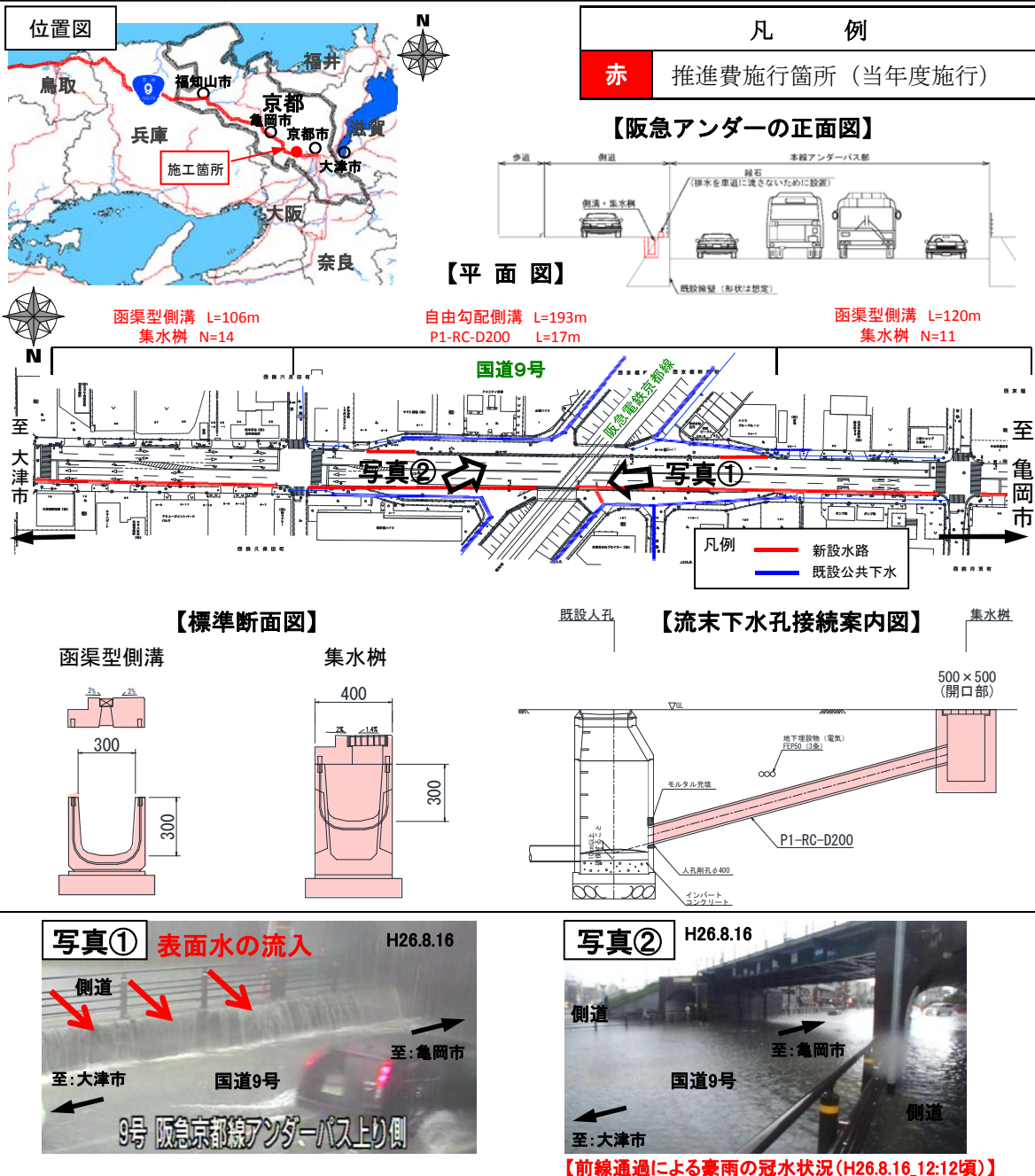


(15) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	キョウトシキョウクサインドウロサイガイボウジョ 道路維持管理事業(一般国道9号京都市右京区西院道路災害防除)		
事業主体	国土交通省		
施行地	キョウトフ キョウトシ ウキョウク サイン 京都府京都市右京区西院		
事業費	30 (百万円)	国費	30 (百万円)

内容

国道9号と阪急電鉄京都線との交差部のアンダーパス(京都市右京区西院)において、平成26年8月10日の台風11号による豪雨(時間雨量43mm)により、冠水し、30分間の通行止め被害が発生。また、1週間後の8月16日の前線による豪雨(時間雨量62mm)により、再度冠水し、86分間の通行止め及び自動車1台の水没被害が発生(運転手は水没前に、なんとか自力で脱出し人的被害は回避)。今後の豪雨により、再度交通や人的被害への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急に排水対策を講じることにより、交通の安全を確保する。



(16) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(一般国道2号岩国市道路災害防除) <small>イワ クニ シ ドウロ サイガイボウジョ</small>		
事業主体	国土交通省		
施行地	ヤマグチケンイワクニシタダ クガマチ 山口県岩国市多田～玖珂町		
事業費	56 (百万円)	国 費	56 (百万円)
内 容	平成26年8月5日～6日の集中豪雨により、岩国市関戸の関戸観測所では 24時間雨量275mm、最大時間雨量63mmを記録した。この豪雨により、国道2号岩国市多田～玖珂町において道路隣接自然斜面が崩壊し、流出土砂が国道を塞ぐ通行規制の被害が生じた。(全面通行止め:1日、片側交互通行規制:約16日) 今後の豪雨により、再度交通への影響が発生しないよう、推進費を活用して緊急に擁壁工等の法面対策工を講ずることにより、交通の安全を確保する。		

位置図

至 下関
至 広島

施行箇所
山口県岩国市

被災状況写真①

流出土砂500m³

一般国道2号 撮影日:2014/8/6

被災状況写真②

流出土砂600m³

一般国道2号 撮影日:2014/8/6

平面図

凡 例

赤 推進費施行箇所 (当年度施行)

関戸観測所(382k410)
山口県岩国市関戸字堂ろじ地先

写真① 写真② 写真③ 写真④

7.0km 3.0km 5.1km

全体延長 L=15.1km

※④写真箇所での対策は、吹付法枠工を実施

対策断面図① 写真①の箇所での対策

重力式擁壁
U1-B1000-H1000
現況断面

※写真②の箇所でも同様の重力式擁壁工対策を実施

被災状況写真④

崩壊範囲
流出土砂10m³

一般国道2号

対策断面図③

かご枠 (B1200×L2000×H500)
134500/6300

被災状況写真③

崩壊範囲

撮影日:2014/8/7

【事業概要】

土工V=920m³, 法面工(吹付法枠・かご枠)A=152㎡, 擁壁工(重力式擁壁)L=57m, 排水工L=32m, 舗装工A=16㎡, 防護柵工L=7m等

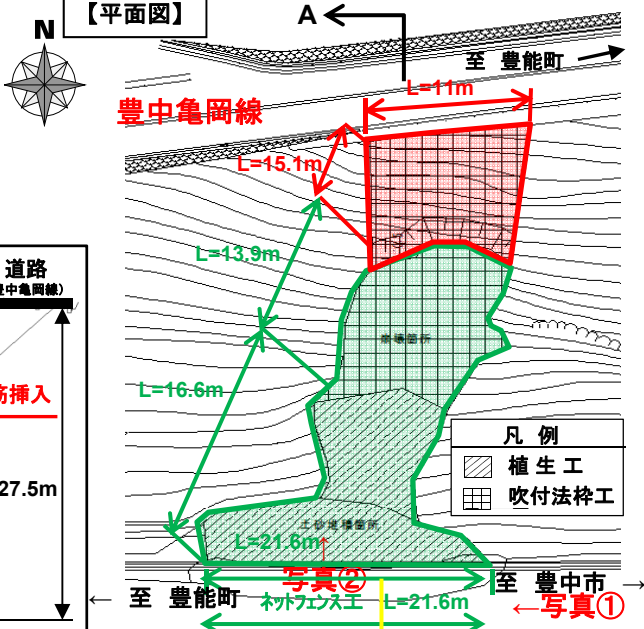
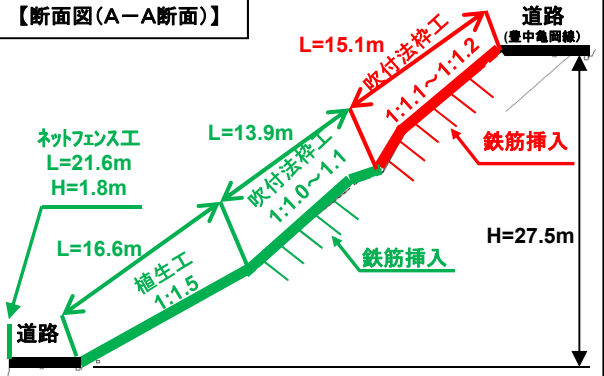
(17) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(主要地方道 ^{トヨナカ カメオカ セン} 豊中亀岡線)		
事業主体	大阪府		
施行地	オオサカフ ミノオ シ ミノオニ チョウメ チナイ 大阪府箕面市箕面2丁目地内		
事業費	17.6 (百万円)	国費	8.8 (百万円)
内容	<p>度重なる豪雨により、平成26年8月24日に主要地方道豊中亀岡線で法面崩壊が発生。法面崩壊部分は、災害復旧事業で対応するものの、当該箇所は盛土部と切土部の境界で地表面からの浸透水が集まりやすく、不安定な状況にあり、現在も片側通行規制を実施している。</p> <p>今後の降雨により、上部法面が崩壊し、再度災害の可能性が高いことから、推進費を活用して緊急に吹付法砕工の法面対策を講ずることにより、交通の安全を確保する。</p>		



凡例	
赤	推進費要求箇所 (当年度施行)
緑	災害復旧・関連 (予定)

被災延長 L=21.6m(法面崩壊)
 法面対策工【災害対策推進費】
 吹付法砕工(鉄筋挿入含む) A=170 m²
 法面対策工【災害復旧事業(査定済)】
 吹付法砕工(鉄筋挿入含む) A=158 m²
 植生工 A=173m², ネットフェンス工 L=21.6m



(18) 災害対策等緊急事業推進費(災害対策)

事業名	ムロトザキ 航路標識整備事業(室戸岬ディファレンシャルGPS局)		
事業主体	海上保安庁		
施行地	ムロトシ ムロトミサキチヨウ 高知県室戸市室戸岬町地先		
事業費	11.8 (百万円)	国費	11.8 (百万円)
内容	台風による被災後、応急措置として展張した空中線の支線は、鉄塔の曲がりや修正するためのもので長期使用に耐えうる十分な強度を有しておらず、切断していない支線についても今回と同規模の台風や大型の低気圧が通過した場合は、切断するおそれがある。再度の支線切断により鉄塔が倒壊した場合、同局から200km以内の有効エリアにGPSの補正值等が提供されない海域が発生することで海難を惹起するおそれがあるため、早急に復旧及び再度災害防止対策を実施する必要がある。		
[位置図]			
○再度災害防止対策	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>対策前</p> <p>空中線鉄塔曲損 (16.4m)</p> <p>支線2本切断 ① 62m ② 43m</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>対策後</p> <p>鉄塔補修・支線張替</p> <p>【再度災害防止対策】 現状: 亜鉛メッキ鋼φ15mm支線 引張強度155kN ↓ 対策: FRP製φ30mm支線 引張強度353kN</p> </div> </div>		
○被災状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>[被災前]</p> <p>25年8月</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[被災後](鉄塔曲損、支線の切断2本)</p> <p>26年8月</p> </div> </div>		